



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者(役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,906	14.5	85	36.9	99	33.8	52	75.6
28年3月期第1四半期	2,539	4.1	62	△26.3	74	0.7	29	△37.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 41百万円(49.8%) 28年3月期第1四半期 27百万円(△56.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	11.09	—
28年3月期第1四半期	6.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,388	5,838	51.3
28年3月期	11,281	5,839	51.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 5,838百万円 28年3月期 5,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,830	8.8	333	△19.9	336	△22.8	155	△32.5	33.03
通期	13,433	7.0	664	26.4	670	9.1	310	17.7	65.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	4,746,000株	28年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	40,889株	28年3月期	40,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	4,705,111株	28年3月期1Q	4,705,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策などを背景に、緩やかな回復基調と見られるものの、新興国をはじめとする海外経済の減速に加え、英国のEU離脱問題の影響を受けるなどし、年初から円高・株安進行により景気回復に対する下振れ懸念の増加で、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループを取り巻く事業環境は、主原料（魚粉・小麦粉・大豆等）の価格は高止まりで推移しているほか、消費者の生活防衛意識から低価格志向は根強く、企業間の価格競争が続く厳しい環境で推移しました。

このような環境の下、当社グループは市場動向を見極めながら積極的な販売活動を展開するとともに、売上成長を模索しながら原価や経費抑制に自助努力し、利益水準の維持・向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は29億6百万円と前年同期と比べ3億67百万円（14.5%）の増収、営業利益は85百万円と前年同期と比べ23百万円（36.9%）の増益、経常利益は99百万円と前年同期と比べ25百万円（33.8%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は52百万円と前年同期と比べ22百万円（75.6%）の増益となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、第1四半期連結会計期間の売上高及び売上原価は、第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ低くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、主原料調達先である中南米の輸入魚粉マーケットは、最需要国である中国や欧州の需要は堅調であることから高値基調を維持しており、今後の相場見通しは需給バランス次第という見方が強く不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、エビ飼料類は、養殖環境も良好で夏エビ育成用飼料および冬エビ種苗用飼料の販売が順調に推移し前年同期を上回りました。魚飼料類は、一部赤潮の発生があったものの影響は少なく、新規開拓やシェア拡大が図られたことにより、ハマチ飼料類、マダイ飼料類、ヒラメ飼料類及び雑魚飼料類の販売が順調に推移し前年同期を上回りました。

子会社のマリンテック株式会社（愛知県田原市）の水産種苗の生産販売及び永屋水産株式会社（東京都中央区）の養魚用飼料の販売も順調に推移し前年同期を上回りました。

その結果、売上高は18億56百万円と前年同期と比べ3億64百万円（24.4%）の増収となりました。セグメント利益は90百万円と前年同期と比べ35百万円（64.6%）の増益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、雇用・所得環境の改善が進んでいるものの、少子高齢化社会がもたらす経済的影響とも考えられる生活防衛意識は、個人消費が力強さに欠ける一方で企業間の価格競争が続く厳しい事業環境で推移しました。

このような状況のなか、そうめん類は、取引先の受注減で前年同期を下回り、即席めん類、うどん類及びそば類は、前年同期並みに推移しました。主力商品の皿うどんは、取扱店の販路拡大が図られたほか、シリーズ化の「辛麺皿うどん」「辛辛麺皿うどん」を新発売するなど順調に推移し前年同期を上回りました。

また、昨年からの海外（中国・韓国・台湾）向けに、即席めん類及び棒状ラーメンの販路開拓が行われ、その成果が売上に寄与しております。

子会社のコスモ食品株式会社（東京都大田区）のカレールー商品等の生産販売も順調で前年同期を上回りました。株式会社向井珍味堂（大阪市平野区）のきな粉及び香辛調味料等の生産販売は、前年同期並みに推移しました。

その結果、売上高は10億50百万円と前年同期と比べ2百万円（0.3%）の増収となりました。セグメント利益は1億1百万円と前年同期と比べ8百万円（9.1%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億7百万円増加し、113億88百万円となりました。これは、主として現金及び預金が1億37百万円、原材料及び貯蔵品が1億16百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が3億31百万円、仕掛品が24百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1億7百万円増加し、55億49百万円となりました。これは、主として長期借入金1億25百万円、未払法人税等が1億17百万円減少しましたが、短期借入金2億34百万円、買掛金が89百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ0百万円減少し58億38百万円となりました。これは、主として利益剰余金が9百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が11百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社グループの売上高は、第1四半期連結会計期間より第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間の割合が高くなる季節的変動があります。また、平成28年7月27日に取得(株式100%取得)した株式会社なかしまの業績予想については現在精査中であることから、当初の業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,906,823	1,769,206
受取手形及び売掛金	1,503,081	1,834,300
商品及び製品	521,577	539,876
仕掛品	100,040	124,900
原材料及び貯蔵品	1,257,751	1,140,898
その他	152,412	161,878
貸倒引当金	△13,272	△11,976
流動資産合計	5,428,414	5,559,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,351,450	1,338,611
機械装置及び運搬具(純額)	655,821	675,791
土地	2,046,363	2,060,043
その他(純額)	244,302	242,974
有形固定資産合計	4,297,937	4,317,421
無形固定資産		
のれん	410,689	389,865
その他	52,871	49,703
無形固定資産合計	463,560	439,569
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,131,831	1,112,790
貸倒引当金	△40,482	△40,482
投資その他の資産合計	1,091,348	1,072,307
固定資産合計	5,852,847	5,829,297
資産合計	11,281,262	11,388,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	639,526	729,043
短期借入金	1,785,231	2,019,370
未払法人税等	153,851	36,236
賞与引当金	122,330	98,367
その他	430,865	483,728
流動負債合計	3,131,804	3,366,746
固定負債		
長期借入金	1,555,146	1,430,000
役員退職慰労引当金	431,265	432,589
退職給付に係る負債	74,719	75,376
その他	248,932	244,917
固定負債合計	2,310,064	2,182,883
負債合計	5,441,868	5,549,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	4,734,930	4,744,747
自己株式	△28,968	△28,968
株主資本合計	5,768,261	5,778,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,737	62,501
繰延ヘッジ損益	△2,606	△1,826
その他の包括利益累計額合計	71,131	60,674
純資産合計	5,839,393	5,838,753
負債純資産合計	11,281,262	11,388,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,539,303	2,906,441
売上原価	1,987,949	2,297,158
売上総利益	551,353	609,282
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	89,328	99,248
貸倒引当金繰入額	276	—
給料及び賞与	114,643	123,450
賞与引当金繰入額	21,875	23,969
退職給付費用	5,123	4,001
役員退職慰労引当金繰入額	4,240	4,865
その他	253,338	268,156
販売費及び一般管理費合計	488,826	523,691
営業利益	62,526	85,590
営業外収益		
受取利息	211	280
受取配当金	2,535	2,200
為替差益	4,188	—
受取保険金	1,308	7,962
雑収入	10,464	23,693
営業外収益合計	18,708	34,136
営業外費用		
支払利息	5,974	4,532
為替差損	—	13,583
雑損失	907	2,121
営業外費用合計	6,882	20,237
経常利益	74,353	99,489
税金等調整前四半期純利益	74,353	99,489
法人税、住民税及び事業税	41,562	42,101
法人税等調整額	3,090	5,224
法人税等合計	44,652	47,326
四半期純利益	29,700	52,163
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,700	52,163

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	29,700	52,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,331	△11,236
繰延ヘッジ損益	△529	779
その他の包括利益合計	△1,860	△10,456
四半期包括利益	27,839	41,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,839	41,706
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,491,950	1,047,352	2,539,303	—	2,539,303
セグメント利益	55,235	92,563	147,799	△73,445	74,353

(注)1 セグメント利益の調整額△73,445千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費76,048千円、営業外収益6,083千円、営業外費用3,481千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,856,188	1,050,253	2,906,441	—	2,906,441
セグメント利益	90,917	101,000	191,918	△92,429	99,489

(注)1 セグメント利益の調整額△92,429千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費81,220千円、営業外収益3,528千円、営業外費用14,736千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。